

知れば知るほど! ナルホド金融経済 為替相場は北朝鮮次第?

ファイナンシャルプランナー
松下 新



今アメリカの景気は順調ですがトランプ政権による政策の不透明さや政権を支えるブレーンが次々と更迭または辞任し、ドル相場も先行きが不安視される状況が続いています。年初に117円台をつけていたドル円相場は上値が重く、120円へ向かう可能性が遠のいています。さらに北朝鮮との緊張が高まり、以前なら有事のドル買いのはずが、ドルは一時107円まで下落(円高)しました。年末に向けてドル円相場はどうなるのか。私なりの考えをお伝えしたいと思います。

アメリカの雇用環境は絶好調で、賃金や個人消費の上昇で裏付けられています。消費者信頼感指数や小売売上高も一時的に乱高下するも順調で、株価も最高値を更新中。6月にはFed(アメリカ中央銀行)が利上げをし、消費者物価の上昇から年内にもう一段の利上げが噂されています。

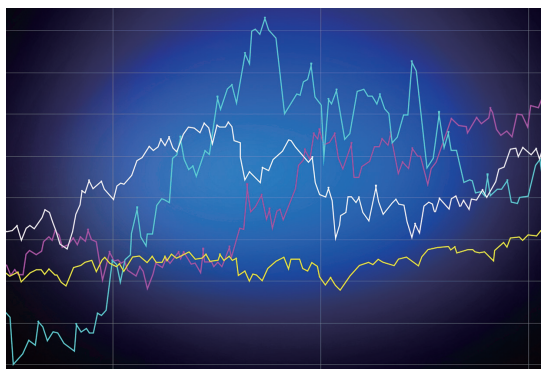
経済だけをみればアメリカのファンダメンタルズは底堅く、雇用状況も良く、トランプ氏の税制改革の目玉である法人税15%達成は無理だとしても何らかの減税が行われる公算が強くなっており、ドルは120円をつけてもおかしくない状況にあります。ところがどうでしょう、ドル相場はほとんど動いていません。なぜなのか? 実は景気と無縁の要素が今の相場を動かしているのです。

「円キャリー」 ニュースでこの言葉を耳にされた方も多いでしょう。金利の低い、安い円を借りてきてドルなどの金利の高い通貨を買い運用することを指します。平常時では金利が高い通貨での運用で金利収入を得ることができ、多くの市場参加者が円キャリーで利益を上げているのです。これはドル買いニーズを起こしますからドル高要因です。

ところがトランプ政権の不透明さに加え、北朝鮮による挑発で事態は一変、円キャリーを閉じる動きが加速したのです。つまり、ドルを買って運用していた人たちが反対売買、ドルを売って手仕舞う取引を始めたのです。さらに9月に入り北朝鮮がアメリカを威嚇し水爆実験をした際には一気にドルが売られ107円というドル安(円高)がつき、比較的安全とされる円を買う動きに拍車がかかり円キャリーは姿を消しました。

そこで忘れてならないのは2001年の9-11。それまで常識だった「有事のドル買い」はアメリカが当事国となったとたん一気に過去の話となったのです。同じように北朝鮮から日本が攻撃を受けた場合、日本が当事国となり、円の下落(ドルの高騰)は計り知れないものになると見ています。

そう考えていくと今後のドル相場は北朝鮮抜きでは語れず、北朝鮮と何らかの衝突があれば



円は一気に売られる(ドル高)ことになるでしょう。一方、緊張緩和が定着するようなら円高ドル安となるものの、アメリカの強い経済基盤に引っ張られドルは徐々に上昇、いずれにしてもドル高方向だと見ています。ではどこまで進むか? まずは115円の壁を破り、120円へ向かうことになるでしょう。いずれにしても当面は北朝鮮の動向に我慢の日々が続くものと思われれます。

人はなぜ預金をするのか？

代表取締役
榊原 弘之



皆さんは預金をしていますか？こう質問されると、多くの方が「もちろん」、「それなりに」と言った回答をされます。「していない」という方が稀かもしれません。どうして私たちは預金・貯金をするのでしょうか？お子さんの教育や住宅購入、将来資金やいざという時に備えて準備をしている、そうした理由が一番多いかと思えます。2017年5月、総務省が発表した「家計調査報告」によれば、日本国民の平均貯蓄残高は1,820万円。(あくまで、2人以上の世帯における1世帯当たりの平均貯蓄額なので、独身の方の貯蓄額は含まれておりません。)また、8月に日本銀行が発表した家計資産残高は1,809兆円に上ります。これに対し、同5月に財務省が発表した日本の借金は1,071兆円。今世紀に入り1.5倍に膨らみ、今後も当面増え続ける。最大の理由は、社会保障費の増大です。世界保健機構(WHO)や国連の定義によると、高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」といいます。最新の内閣府の発表によれば、現在の日本は、高齢化率26.7%。まさに超高齢社会です。2040年頃には39%になるとも言われています。そうした現状に、少子化も加わり、日本の社会保障は危機的状況にあると言って良いのではないのでしょうか？

世界第一位の借金大国「日本」

現在の日本は、国民の貯蓄が国の借金を支えている構造と言われます。皆さんが銀行にしている「預金」。これで銀行が日本の国債を買う仕組み。皆さんの預金が日本の借金「赤字国債」を買い支えていると言って良いでしょう。当然、「国債」は「償還」と「利払い」があります。払えない場合はどうなるのか。ここからは推測ですが、日本銀行はたくさんの紙幣を刷ることでしょ。そうすると、市中にはお金が溢れ、ハイパーインフレの状況になります。100円ショップが、1,000円ショップ・1万円ショップになってしまうかもしれません。すると政府は



「デノミネーション」を行います。デノミネーションとは、インフレなどにより、通貨の桁数が大きくなり経済活動に指標をきたす場合にその解決策として行われる手段です。そして「新円切替」へ向かいます。どこかで聞いたことがあるような話。そうです、まさに敗戦直後の日本と同じ状況です。80年1サイクルで日本の経済は変わるなどとも囁かれておりますが、そんな状況になってしまうかもしれません。敗戦(1945年)から80年、2025年です。もし、そんな状況が起きると、当然、銀行は破たん。ペイオフにより各銀行に1,000万円ずつ分けて預金をしているという方もいらっしゃるかもしれません。しかし、今の紙幣がただの紙切れになってしまうのは、「銀行の分散」はどこまで意味のあることなのでしょう？もちろん、この話は推測です。しかし、そんなにズレた話でもありません。それでも皆さんは預金を続けますか？果たして「日本の財政破綻」は？少し考えなくてはなりませんね。インフレへの備え、外貨への分散。海外に口座を作ることも大切です。もちろん、最近ではどんどん作りにくくなっていきます。銀行に外貨口座を作っても、銀行が破たんしたら。皆さんは弊社のお客様ですから良い方法をご存知ですよ。そうです、すでに多くの方が実施されておりますので、ご安心ください。もし、まだ医療保険等しかご加入されていない方がいらっしゃいましたら、至急、担当までお声掛けください。年金は毎年減額、医療費負担は増加、介護保険も上がって行き…。日本の年金支給を75歳からにした方が良いとの提言も年初に発表されておりますよね。延命治療はしません。したい方は自費診療で。そんな時代も来ってしまうかもしれません。安心できる未来は自分で作り守りましょう。時間を無駄にしないように、お手伝い致します。



つみたてNISA(ニーサ)が始まります!

ファイナンシャルプランナー
堤 太郎



現行のNISAやジュニアNISAに加え、2018年の1月より新たに“つみたてNISA”がスタートします。将来へ向けた長期の資産形成の手段として非常に魅力的な内容です。今回は現行NISAとつみたてNISAの違いについてお伝えします。まず現行のNISAでは年間120万円まで非課税で運用できます。非課税運用ができる期間は最長5年。(ロールオーバー利用で最長10年)毎年120万円の範囲内で投資額を追加することで最大600万円が非課税で運用できます。

では新たにスタートする「つみたてNISA」というと、年間の非課税投資金額は40万円となります。代わりに非課税で運用できる期間は20年間です。年間の運用金額は現行のNISAの120万円に比べ大幅に減っていますが、最長20年間の非課税運用期間をフル活用すると最大800万円まで非課税で運用できます。投資できる商品は長期の積み立てに適した「投資信託」のみです。現行のNISAの様に株や債券を購入することはできません。こうした特徴から短期で利益をあげたい方には不向きな制度と言えます。しかし、少額で始めたい方や長期で安定的に運用したい方にとっては非常に良い制度です。同



じく老後資金を準備する手段として確定拠出年金や変額保険と併せて活用できると良いですね。

つみたてNISAの申し込みは来年1月からですが、専用口座の開設は既に始まりました。専用口座の開設には通常の証券口座の開設とマイナンバーの提出が必要です。つみたてNISAでは1人1口座のみです。扱う投資信託の本数やサービス内容は会社毎に異なります。各社様々なキャンペーンをしていますので、興味のある方は早めに準備されてはいかがでしょうか。

魔除けの灯火

クラーク
中畑 美絵



秋の一大イベント「ハロウィン」。ハロウィンの象徴とも言えるのが「ジャック・オ・ランタン」。元々は「カボチャ」ではなく「カブ」が使われていたのはご存知ですか？
“昔、アイルランドにジャックという酔っ払いの悪人がいました。彼は死後、生前の行いも悪く、悪魔との約束もあり、天国にも地獄にも行けず永遠にあの世とこの世の間

をさまようこととなりました。そこで暗い足下を照らすためにカブをくりぬいてランタンを作りました。”このランタンが、いつしか「魔除けの火」として伝わりハロウィンに飾られるようになったそうです。その後この話がアメリカに伝わり、あまり親しみがなかった「カブ」ではなく、沢山採れる「カボチャ」で作られるようになりました。今でも世界の一部の地域ではカブのランタンが飾られているそうです。日本のカブは小さいですが、大きなカブを見つけたら作ってみたいですね。知らない方も多いジャック・オ・ランタンの由来。今もどこかでジャックの霊がさまよっているのかもしれませんがね。

弊社は相模大野で開催の「さがみおおのハロウィンフェスティバル」に協賛しております。是非ご参加お待ちしております。



“介護”のこと、考えてみませんか？

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



他人事ではない“介護”

高齢化の一途をたどる日本では、現在、全人口の1/4が65歳以上の高齢者です。そんな中、要介護、要支援と認定され、公的介護保険を利用している人はおよそ600万人。後期高齢者の75歳以上の場合には3人に1人が利用しています。ご夫婦のご両親4人のうち1人は介護が必要になる割合ですから、介護は決して他人事ではありませんね。

介護期間はどのくらい？

平均寿命は延び、介護の期間も長期化する傾向にあります。平成27年に生命保険文化センターが行った調査では、平均介護期間はおよそ5年ですが、4年以上介護した割合は4割を超え、10年以上介護を続けている人も1割以上います。介護が必要な期間は人それぞれですが、長引く場合の想定も必要になってきます。

介護費用はどのくらい？

介護に要した費用(公的介護保険サービスの自己負担費用を含む)は、住宅改修や介護用ベッドの購入などの一時費用の合計が平均80万円、月々の費用が平均7.9万円となっています。5年介護が続くと、 $800,000円 + 79,000円 \times 12ヶ月 \times 5年 = 5,540,000円$ 500万円は心づもりをしておく必要があります。

“公的介護保険制度”

介護支援の中心となるのは公的介護保険制度です。また、この制度に加え、市町村による支援などがあります。これらのサービスは、費用の負担も少なくさまざまな介護サービスを一つのしくみで受けることができます。公的介護保険制度で受けられるサービスには、自宅などで受ける在宅サービス、施設に入所する施設サービス、地域に密着した地域密着型サービス、そのほか、介護環境を整える住宅改修や福祉用具の購入・貸与などがあります。

また、公的介護保険を利用するには、健康保険と同様、一定の自己負担が必要になります。

どこで介護するか？

介護を自宅で行うか、施設に入所するかは判断は、介護される人の希望と介護する人の事情で考え、どちらがいいというものではありません。いくら介護される人が自宅での介護を望んでも、介助の必要性が高いケースや、介護できる人が少なく、仕事などの都合で介護できる時間が取れないなどの場合は自宅での介護は難しくなるかもしれません。双方にとって最良の場所を選んでください。

介護には事前の“心構え”が大切！

いつまで続くかわからない介護ですから、無理は禁物です。少子化で介護する家族も少なくなってきていますから、ひとりで抱え込まず、家族や専門家を含めたプロジェクトチームを組んで取り組んでいくことがとても大切です。また、介護がはじまったときに親族間のトラブルや介護離職をしなくても済むよう事前準備のコミュニケーションがとても大切です。介護の基礎知識の習得、介護される人などの情報収集、介護資金の準備、介護予防、介護に備えた体制づくりをしておきたいものです。そのためには、何より、元気なうちから家族で考えや希望を話し合っておくことが何より大切です。



差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鶴沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <https://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.